

消費税増税に備える
消費税転嫁対策セミナー

近畿印刷産業機材協同組合は2月5日、(株)モリサワ本社4階会議室において「消費税転嫁対策セミナー」を開催。組合員企業の経営者や経理担当者ら21名が出席した。

消費税率が今年4月1日に5%から8%に引き上げられ、さらに来年10月1日には8%から10%への引き上げが予定されている。

そこで、税理士法人コモンズ代表社員の坂本幹雄氏を講師に招き、消費税増税に向けた対応についての理解を深め、円滑な転嫁対策を講じることを目的に「消費税転嫁対策セミナー」を開催。事例などを交えた具体的な経理上の対応などが示された。



生産性向上設備投資促進税制説明会
即時償却か税額控除も

一般社団法人日本印刷産業機械工業会は2月14日、当組合要請のもと、(株)モリサワ本社4階会議室において「生産性向上設備投資促進税制説明会」を開催。当組合員企業の経営者や営業担当者ら46名が出席した。



「先端設備」や「生産ラインやオペレーションの改善に資する設備」を導入する際の新たな税制措置として「生産性向上設備投資促進税制」が1月20日に施行された。とくに、先端設備導入に関しては、年平均1%以上生産性向上する最新モデルであれば即時償却か税額控除を受けられるというもの。



▲樋口専務理事

しかも、従来のように経済産業省が要件確認を行い、証明書を発行するのではなく、同協同組合の上部団体である日本印刷産業機械工業会などがその作業を行うため、事務負担など申請に関する煩雑さが減少するというメリットがあり、また、今後の経済発展を継続的に図るため、申請に対しては確認・証明書発行を積極的に行うものと考えられる。

そこで今回は、組合員の自社設備投資はもちろんのこと、ユーザーの設備投資意欲を喚起する営業手段としてもこの税制を利用できるものとして税制説明会を2回開催。当日は、日本印刷産業機械工業会の樋口恭司専務理事から説明が行われた。

恒例のボーリング大会
優勝は猶原さん(加賀ローラ)

近畿印刷産業機材協同組合は2月22日、イーグルボウル新大阪において恒例の「ボーリング大会」を開催。組合員企業の従業員ら37名が参加し、汗を流した。

同イベントは、組合運営の柱である「親睦」を目的に開催されている恒例行事。ゲームはスクラッチによる3ゲームトータルでスコアを競い合った。

結果、優勝は猶原豪さん(加賀ローラ製作所)、ハイゲームは勇元真二さん(加賀ローラ製作所)。



▲優勝の猶原さん

印刷技術の種々な価値
JP2014
情報・印刷産業展

JP2014情報・印刷産業展(主催/JP産業展協会、西井幾雄会長)が5月15日から17日までの3日間、大阪・南港のインテックス大阪5号館で開催される。テーマは「Where is the Partner」。出展規模は77社・253小間(2014年3月7日現在)で前回とほぼ同規模となる。

今回から19団体で構成する大阪印刷関連団体協議会が協力参加することで、幅広

い印刷関連業界からの来場が期待される。

新たな試みとしては、会場全体を「赤色フクロウが棲む街」と仮想し、「生産管理市」「付加価値区」「営業拡大町」「彩りの村」の4街区で会場を構成。ガイドブック「JPガイド」と連動する形で、ARアプリを通じてJPバーチャルキャラクター「赤色フクロウ」が会場を案内する。

また、新需要創出を目指す営業力強化策として、各社営業マンが顧客を誘い、来場してもらうためのJP展事前情報として「提案営業専用ガイドブック」を作成し、4月中旬に大阪印刷関連団体協議会19団体の全企業に配付される予定。

